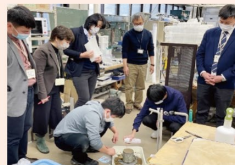


JICA北海道センター(帯広)は、道東地域と世界を繋ぐ国際協力のゲンバとして、北見市、北見工業大学や日本赤十字北海道看護大学等と連携した事業を行っております。

### 「寒冷地北見の知識や技術がモンゴルの課題解決に役立つ!」

モンゴルでは「凍上現象(寒気によって道路下の土の中にある水分が凍結して隆起する現象)」による路面の凹凸や亀裂等が多くみられます。これに対し、北見市と北見工業大学は、JICAの協力のもと、草の根技術協力「路床の凍上性に着目した首都ウランバートル市内における道路の質的向上に向けたプロジェクト」を実施。モンゴルの凍上対策に取り組んでいます。昨年12月には、モンゴルの道路建設に携わる研究者や技術者が北見に来て、凍上性について学びました。これからも北見の風土の特徴を活かした本プロジェクトにご注目下さい。



▲研修員が北見工業大学での凍上試験を視察

## From Africa



### 研修員インタビュー

#### 北見工業大学で勉強中の JICA留学生に話を聞いてみました!

お名前: Siddo(シド)さん  
出身国: ニジェール  
所属: 北見工業大学 水処理工学研究室



#### 来日の目的

川や湖の水が少ないニジェールでは、地下水が重要な資源です。地下水管理についての知識を深めるため、2022年から北見工業大学で研究に取り組んでいます。

#### 北見の印象は?

毎日大学とアパートの行き来なので、あまり町のことを知りません。来日直後にニトリとユニクロに連れて行ってもらい買い物しました。私は、お米とサラダを中心に自炊をしています。ニジェールでは毎日お米を食べますので、日本でもお米が食べられてよかったです。

#### ニジェールはどんな国?

西アフリカにあり、周辺を7か国に囲まれている内陸国です。雨季と乾季がはっきり分かれており、熱帯雨林と半乾燥地帯の気候を兼ね備えています。

#### 今後の展望は?

水資源管理の分野でニジェールの発展に寄与したいです。将来は大学で教鞭をとり、自分が学んだ知識を、意欲のある学生たちに伝えたいです。日本で構築した企業や政府機関とのネットワークも使いながら、日本との友好な関係を継続していきます。

JICA北海道センター(帯広)は、経済成長著しいアフリカを支援しています。2022年8月にはチュニジアにて第8回アフリカ開発会議(TICAD8)が開催され、日本とアフリカ、国際社会の指導者が、アフリカ開発について話し合いました。

### 北見イベント

#### 来て見て知ろう!

JICA×オホーツク国際フェスタ  
場所 北見市民会館小ホール

留学生やJICA海外協力隊の経験者、地域の団体が集まります。JICA海外協力隊の募集説明会も開催予定!

日時:6月10日(土)10時~夕方

#### 多文化共生についてのご相談は JICA北見デスクまで!

多文化共生社会の構築を支援しています。オホーツク地域の在留外国人に関するお悩み事や、多文化共生イベント等についてのご相談は、是非北見デスクまでお気軽にご連絡ください。



JICA北見デスク連絡先  
茶谷 堅志朗

080-9525-1332

jica\_kitami\_desk@jica.go.jp

